

CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 11 No.21 2009年11月15日号

編集:editor@cnar.jp 広告:pr@cnar.jp 読者登録:<http://cnar.jp>

Copyright 2009 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

新日鉄ソリューションズ、ブイキューブの Web 会議を使用したクラウド型 Web 会議サー ビスの提供を開始

新日鉄ソリューションズ株式会社(東京都中央区)は、クラウド型 Web 会議サービス「nice to meet you @ absonne」(ナイストゥミーチュアット アブソンヌ)の提供を発表。(10月24日)11月4日より提供開始。

nice to meet you @ absonne は、同社のクラウド・コンピューティング IT インフラサービス“absonne”(アブソンヌ)上において、株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)の Web 会議システム「nice to meet you」を提供するもの。

基本料金 79,900 円(税抜き)から利用可能で、Web 会議によるオンラインミーティング、Web セミナー、外部への映像配信などを提供する。さらに CO2 排出量や交通費を数値で見える化できる「ECO メーター」機能も提供する。

新日鉄ソリューションズとしては、absonne 上において、今回他社アプリケーションを提供することは初めての試みという。今後他社情報系アプリケーションを順次提供していくことを予定しており、その際には、アプリケーション間の連携も容易になるようだ。

新日鉄ソリューションズは、nice to meet you @ absonne の売上については関連サービスを含め初年度 3 億円、3 年後には 10 億円を目標としている。

株式会社シード・プランニングの「2009 年版 テレビ会議 / Web 会議の最新市場動向」によると、ブイキューブの nice to meet you は、国内シェアトップという。

新日鉄ソリューションズの窓口は、IT インフラソリューション事業本部 営業本部 abosonne 事業グループ。

ポリコム、ビジュアルコミュニケーション イン フラストラクチャ Polycom RMX、Polycom RSS のハイエンド新製品を発表

ポリコムジャパン株式会社(東京都千代田区)は、リアルタイムメディア会議プラットフォームの「Polycom RMX 4000」と、会議レコーディングソリューション「Polycom RSS 4000」の新製品を発表した。大企業、教育機関、医療ネットワーク、サービスプロバイダなどの大規模環境で、信頼性の高いビジネス品質のコミュニケーションを実現するという。(10月26日)



Polycom RMX 4000 (ポリコムジャパン資料)

Polycom RMX 4000 は、既に販売されている Polycom RMX 2000 が持つすべての機能をサポートした上で、Polycom RMX 2000 の 2 倍の容量と冗長電源を備えた Polycom RMX シリーズのハイエンドモデルになる。HD 品質のビデオ会議システム(ビデオスイッチングモード、発話者の声で画面が切り替わる方式)で最大 320 拠点、VoIP(Voice Over IP)音声会議システムでは最大 1600 拠点との同時会議をサポートする。

Polycom RMX シリーズは、上記の他、エントリータイプの Polycom RMX 1000 も提供しているが、今回の発表によ

り、3機種揃うことになる。

一方、Polycom RSS 4000は、最大1080pの解像度で録画でき、1台のサーバで最大15セッションの音声、ビデオ、コンテンツを使った会議を録画できる。ポリコム製品の他、国際標準に準拠した他社のテレプレゼンスシステムやビデオ会議システムを使って動画コンテンツの作成とストリーミングが行える。



Polycom RSS 4000 (ポリコムジャパン資料)

Polycom RSS 4000は、既存のPolycom RSS 2000がもつ機能を全てサポートし、冗長電源やデュアル RAID ハードディスクを備えたPolycom RSS シリーズのハイエンドモデルになる。

Polycom RMX 4000とPolycom RSS 4000は、それぞれ2009年中に出荷開始を予定している。

Gartner社によると、ビデオ会議市場は、2008年から2013年まで17.8%の年平均成長率(CAGR)で拡大し、38億ドルから86億ドルに成長すると見込まれているという。(Gartner, Inc. Dataquest Insight: Videoconferencing Products and Services Market Forecast, Worldwide, 2007-2013)

また、2009年9月に米Wainhouse Research社が発表した調査結果によると、ポリコムは、2009年7月までに導入されたビデオ会議専用端末システム市場で41%の圧倒的なシェアを占めているという。

日本タンバーク、2~3人向けのテレプレゼンスシステムの新製品を発表

日本タンバーク株式会社(東京都港区)は、2~3人の使用に最適なテレプレゼンスシステムの新製品「TANDBERG Telepresence T1(タンバーク テレプレゼンス T1)」を発表した。(10月22日)

TANDBERG Telepresence T1は、通信プロトコルについては、H.323 および SIP、映像解像度は、1080p および 720p に対応。音声は、MPEG4-AAC-LD ステレオ音声などにも対応している。デュアルストリーム(H.239)や暗号化機能などに対応している。



TANDBERG Telepresence T1 (日本タンバーク資料)

パンフレットによると、TANDBERG Telepresence T1は、65インチHD液晶ディスプレイ x 1、Codec C90 x 1、PrecisionHD 1080p カメラ x 1、スピーカーモジュール x 1、一体型テーブル、22インチフルHDタッチコラボレーションパネルx 1、天井取り付け型スタジオライトモジュールが同梱されている。壁紙はノルディックブルーで統一しており、「TANDBERG Telepresence T3(ディスプレイが3面タイプのもの)」のパーソナルタッチコラボレーションスクリーンを採用している。価格はオープンプライス。

日本タンバーク、1080p/720p HDに対応したProfileシリーズ新製品を発売

日本タンバーク株式会社(東京都港区)は、1080p/720p HDに対応したProfileシリーズ新製品3機種を発表した。(10月22日)

それら3機種は、「TANDBERG Profile 42」のエントリーモデルの他、「TANDBERG Profile 65」、「TANDBERG Profile 65」 Dual」。



TANDBERG Profile 65" Dual (日本タンバーク資料)



TANDBERG Profile 65" (日本タンバーク資料)

これにより、TANDBERG Profile シリーズでは以下の機種が提供される。

TANDBERG Profile 65" Dual: 65インチの画面が2画面採用されており、コーデックに「TANDBERG Codec C90」を搭載している。マルチメディアデータ共有も可能。

TANDBERG Profile 65": 65インチの画面が1画面採用されており、コーデックにTANDBERG Codec C90を搭載している。役員室やハイエンドな会議室での利用に適している。

TANDBERG Profile 52": 52インチの画面が1画面採用されており、コーデックに「TANDBERG Codec C60」を搭載している。チームコラボレーションや会議室での利用に適している。

TANDBERG Profile 52" Dual: マルチメディアデータ共有のためディスプレイが2画面採用されている。



TANDBERG Profile 42"(写真左、日本タンバーク資料): 42インチの画面が1画面採用されており、コーデックにTANDBERG Codec C60 または「TANDBERG Codec C20plus」を搭載している。

小会議室や中小規模企業での利用に適している。

TANDBERG Profile シリーズは、標準ベースのビデオ会議システムやテレプレゼンスシステム、「Microsoft Office Communicator」などのユニファイドコミュニケーションと相互運用が可能。また、C20Plus モデル以外は、内蔵多地点接続機能が搭載されている。

Profile 65" Dual のみ、日本国内での発売は未定。Profileシリーズは、リサイクル可能なアルミ材料を使っている。

プレスリリース発表時(10月22日)には、オープンプレイスにて既に販売を開始している。

日本 IBM、ソーシャルネットワーク機能とオンライン会議機能を組み合わせた新サービスを発表

日本 IBM 株式会社(東京都中央区)は、パブリック・クラウドの新サービス「IBM LotusLive(IBM ロータスライブ)」ファミリーの新サービスを発表。10月21日より提供を開始する。

新サービスは、「IBM LotusLive Engage V 1.0」および、IBM LotusLive Engage V 1.0 に含まれる機能を個別に提供する「IBM LotusLive Connections V1.0」、「IBM

LotusLive Meeting V8.2]、「IBM LotusLive Events V8.2」。

ユーザー一人当たり月額換算 500 円程度から利用できるが、サービスとはいえ、高い信頼性を備え、セキュリティやプライバシーにも対応していると日本 IBM は説明する。

IBM LotusLive Engage V 1.0 は、プロフィールやコンタクト先管理、プロジェクトおよびタスク管理、ファイル共有、集計を含むアンケート調査実施などのソーシャルネットワーク的な機能と、Web 会議やビデオ会議などのオンライン会議の機能からなる。価格は、79,000 円/年から。(15 名用 オンライン会議室 1 部屋+ファイル投稿者 1 名分)以下の3つのサービスを包含したサービス。

IBM LotusLive Connections V1.0:ファイル共有、タスク管理、コンタクト情報の共有などソーシャルネットワーキング機能。16,800 円/年から。(ファイル配信者 1 名あたり、ゲストユーザ無制限)

IBM LotusLive Meeting V8.2:同時ユーザ 15 名までおよび 25 名まで(会議主催者1名は固定で含まれる)のオンライン会議機能を会議室貸し切り、使い放題の課金体系で提供。価格は、67,000 円/年から。(15 名用オンライン会議室 1 部屋)

IBM LotusLive Events V8.2:IBM LotusLive Meeting にオンラインセミナー実施時に求められる管理機能を強化した、1000 名までの大規模オンライン会議機能。価格は、135,600 円/年から。

エンドユーザは、自ら企業の枠を超えてグループを作成し、そのグループ単位でファイルの閲覧権や編集権などをきめ細かに管理することができる。またゲストユーザの設定も可能で、任意に招待したゲストユーザと自由にファイルの配布やタスク管理を行うこともできる。その上、必要とあれば、即座に会議案内を送付してその場でオンライン会議を開始することも可能だ。

さらに、ファイル共有機能で、ファイルの管理や変更履歴の保存、そして、タスク管理ツールによって、同時並行で進められる各プロジェクトのさまざまな進行状況を把握できる。もちろん、これらの情報は簡単に関係者全員がいつでもアク

セスできる。

今回発表されたサービスは、日本 IBM および IBM ビジネスパートナー経由でパスポート・アドバンテージを通じて「期間限定ソフトウェア使用権のライセンス」として販売する。

パブリック・クラウド・サービスの特長のひとつは、企業ユーザがインフラ整備への初期投資や専任の担当者なしに、低価格かつ迅速に利用することができる点。エンドユーザは、Web ブラウザーさえあればいつでもどこでも利用できるとともに、サービス利用のため複数の企業の間でも接続することができる。

事業動向-国内

パソナテック、シスコの Cisco WebEx Support Center を活用した次世代サポートデスクサービスを開始

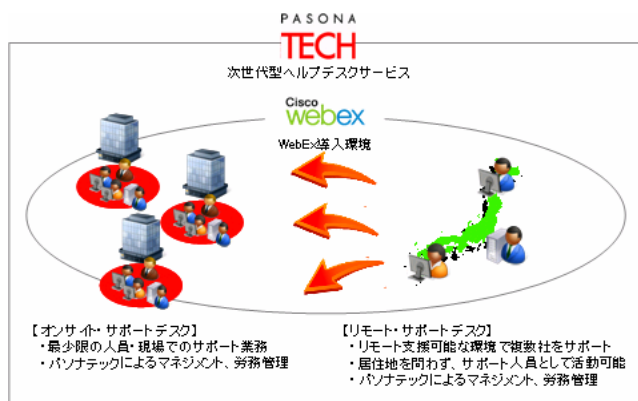
株式会社パソナテック(東京都渋谷区)は、10 月より開始した新サービス「次世代型サポートデスクサービス」の提供にあたって、シスコシステムズ合同会社(東京都港区)の遠隔サポートソリューション「Cisco WebEx Support Center(シスコ・ウェブエックス・サポート・センタ)」を採用したと発表した。(10 月 5 日)

パソナテックは、総合人材サービスを展開するパソナグループにおいて、IT に特化した専門人材サービスを提供している。

パソナテックは、企業が、既に社内に設置している社員ユーザのサポートを行う常駐型ヘルプデスクサービスに関して、さらなる業務効率化や品質向上を実現する遠隔化サポートサービスへのニーズが拡大していると見ている。

そこで、今回発表した Cisco WebEx Support Center を活用した次世代型サポートデスクサービスは、現場で直接対応する必要のないサポート内容を遠隔化し、常駐型ヘルプデスクと遠隔サポートを組み合わせることで、サービス品質を維持しつつ、コスト削減を可能にできるという。

また遠隔対応するサポート人員は同時に複数企業のサポートを担当し、人材配置の効率化を行える。



パソナテックの次世代ヘルプデスクサービス(シスコシステムズ資料)

遠隔対応の対象企業は、サポートが可能な通信環境が整えば、オフショア・ニアショアでのサービスが可能。また遠隔対応するサポート人材も環境が整えば、どこからでも業務を行える。

同社では、今回のサービスが、IT業界において恒常的な課題となっている人材不足を解消する大きなサービスプラットフォームの構築を可能とすると考えている。たとえば、東京にIT業務が集中することで活躍の場が少ない地方のエンジニアに新たな活躍の場を提供したり、在宅勤務を含めたワークスタイルを模索したりするエンジニアにも新たなワークスタイルの提供を実現できるようだ。

事業動向-海外

Vidyo社のVidyoRouter™が米国特許商標庁より特許を取得

Vidyo社(ヴィディオ)は、米国連邦政府特許商標庁より同社のVidyoRouter™アーキテクチャー技術で特許を取得したと発表。(10月29日)

特許のタイトルは、「System and Method for Conference Server Architecture for Low Delay and Distributed Conferencing Applications」特許番号は、7,593,032。

VidyoRouter™アーキテクチャーは、従来のビデオ会議の

インフラ技術の根幹であったMCU技術を不要にして、ベストエフォート型のインターネットであっても、パケットロスに強く遅延の少ない安定した信頼性の高いビデオ会議を実現するネットワーク装置技術。

ネットワークの中核において処理量を格段に軽減することで、今までMCUを使用していたケースよりも、端末間の遅延時間が半分以下になるとともに、20%程度のパケットロスが発生しても、高品質でスムーズなビデオ会議が実現したと同社では説明する。

「H.264/SVCを利用した他社メーカ製品もあるが、当社の技術とは違い、従来のMCUによるトランスコードが必要になり、ビデオ会議の品質の向上の妨げになる。」(Vidyo社)

Vidyo社は、2005年に設立。米国ニュージャージー州ハッケンサックに本社を置く。H.264/SVCを利用した新しいビデオ会議システムのアーキテクチャーを世界で初めて開発した。日本では、2008年秋より日本オフィスを設立(現在は、東京都港区赤坂)。

その後、VTVジャパン株式会社(東京都千代田区)、株式会社内田洋行(東京都中央区)などの国内パートナーを順調に拡大し、2009年秋からは、Vidyo社の技術を活用したASPサービスを、株式会社Visual Link Laboratory(東京都中央区)により開始される予定。また、Vidyo社の技術は、株式会社日立製作所(東京都千代田区)のソリューションに採用されている。

カントリーマネージャは、楠本博茂氏。サポートエンジニアなども採用し、日本オフィスも体制を強化しているという。

導入動向-国内

東北電力、タンバークのHD対応ビデオ会議システム導入

日本タンバーク株式会社(東京都港区)は、東北電力株式会社(宮城県仙台市)が、本支店、発電所、営業所など122ヶ所にタンバークビデオ会議システムを導入したと発

表。(10月14日)

今回導入した主な製品は、1080p HD 対応で多地点接続機能を搭載した 1080p HD ビデオ会議端末「TANDBERG Codec C90」の 171 台導入の他、ビデオ会議ネットワーク管理システム「TANDBERG Management Suite(TMS)」、SIP/H.323 機器の接続を可能にし、H.325 による機器認証、ファイアウォール越えを実現する「Video Communication Server(VCS)」等のネットワークインフラ装置などから構成される。

東北電力では、災害復旧時に果たすITの役割を重視しており、災害時に高精細なビデオ会議システムを使用することで情報共有を推進する計画を早くから検討していた。

導入の結果、低画質の旧ビデオ会議システムとは違い、高精細なフルHDに対応したビデオ会議システムを活用することで、災害現場の社員の状況をより詳しく把握し、迅速な指示を行うことが可能になった。また機種選択においては、長期間の使用に耐える、既存ならびに将来導入するパソコンや映像機器製品とも親和性が高い、導入によるROI(投資効果)が高い、といった点を重視した。

この他、東北電力では、大規模災害時の復旧時間の短縮や出張経費の削減効果、社内コミュニケーションの充実や職場の活性化などに、ビデオ会議システムが貢献することを期待している。

東北電力株式会社

<http://www.tohoku-epco.co.jp/>

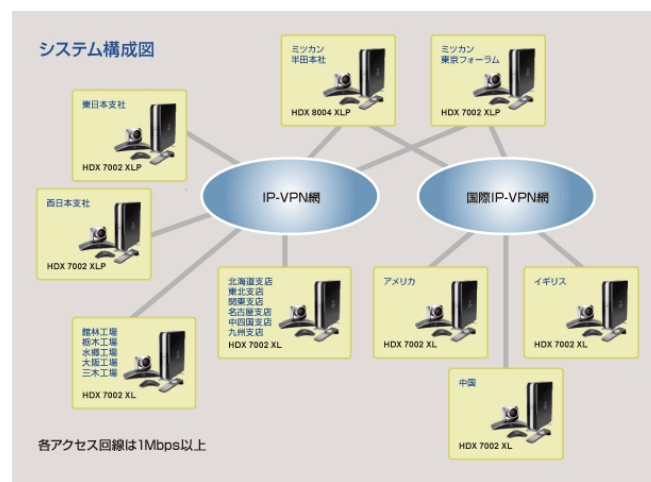
ミツカングループ、ポリコムHDビデオ会議システム導入

ポリコムジャパン株式会社(東京都千代田区)は、ミツカングループ(愛知県半田市)が、HD 対応のポリコムビデオ会議システムを導入したと発表した。(10月27日)

ミツカングループでは、アメリカ、イギリス、中国の3拠点と、日本国内13拠点に「Polycom HDX 7002 XL」ビデオ会議システム、そして本社には、「Polycom HDX 8004 XLP」ビデオ会議システムを5台導入し、IP-VPNをネットワークに採用す

ることでセキュリティを確保し、各アクセス回線は、1Mbps以上を確保することで品質を維持する。

会議の効率化と出張旅費の削減を目的に、海外との経営会議や国内拠点で行う支社会議、広告代理店を交えた企画会議などのさまざまな用途に活用している。利用実績はすでに200回を越え、延べ1000人以上が利用した。ビデオ会議を置き換えることで、出張旅費の削減も進み、スピード経営が実現しているという。



システム構成図(ポリコムジャパン資料)

導入前は、会議出席者の出張スケジュール調整に苦勞していたが、今では出張を意識せずに会議の予定が立てられるようになり、ビデオ会議システムが仕事の進め方を変え、業務改善にも貢献している。さらにインフルエンザによるパンデミック対策や社員のワークライフバランスへも役に立っているという。

今後の展望については、経営層メッセージのリアルタイム配信、新製品に関する説明会など現場への活用を積極的に推進していく予定。

導入前の検討過程では、複数社のシステムのデモを実施し、比較した結果、高品質な映像と厚みのある音声で臨場感を再現し、集音性能に優れたマイクで自然な会話ができる点を高く評価した。また、ミツカングループが、グローバル経営を進め、海外進出を拡大させていく戦略上、世界中あらゆる場所でも十分なサポートを受けられる点も重視した。

ミツカングループは、食酢、味ぽんを中心とした調味料・加工食品および納豆を製造販売。日本国内およびアメリカ、イギリス、中国、タイ、シンガポールにて事業を展開。

導入を担当した販売代理店は、プリンストンテクノロジー株式会社(東京都千代田区)。同社では、機種選定時の提案や、通信事業者とのビデオネットワーク設計の打合せなどを担当し、わずか1年足らずの間に主要拠点へのスムーズな展開を可能にしたという。

ミツカングループ

<http://www.mizkan.co.jp/company/>

セミナー・展示会情報

<国内>

「見える」遠隔サポートで訪問不要・顧客満足度 UP! ~ コスト・時間・労力 Down、提案力 Up を実現するシスコのリモートサポート ~

日時:11月17日(火)14:00-15:00

会場:Web セミナー

主催:シスコシステムズ合同会社

Cisco WebEx テクノロジーグループ

詳細・申込:

http://www.webex.co.jp/jp/web-seminars/webseminar_111709.html?SourceId=m1

ブロードバンドソリューションフェア 2009

日時:11月17日(火) 10:00-17:00(受付:9:30~)

会場:グランキューブ(大阪国際会議場)3階 イベントホール

主催:NTTコミュニケーションズ株式会社

詳細・申込:<https://bbsf2009.smartseminar.jp/>

**テレビ会議系:沖電気ネットワークインテグレーション/沖データ、日立ハイテクノロジーズ、日本タンバーク/オーライソフトウェア、プリンストンテクノロジー/ポリコムジャパン。

RADVISION SCOPIA Elite 発表セミナー

大阪会場:

日時:11月18日(水)13:30~(開場:13:00)

場所:TURUYA ホール(つるやゴルフ本店 8F)(大阪市中央区)

主催:RADVISION ジャパン株式会社、VTV ジャパン株式会社

詳細・申込:<http://www.vtv.co.jp/seminar/0911elite/index.html>

1時間でわかる「ウェブ会議システム」セミナー

~WEB会議システム No.1 企業が教えるコスト削減セミナー

日時:11月18日(水)15:00-16:30

*各開催日とも14:45受付開始。

会場:TKP 東京駅ビジネスセンター 1号館

主催:株式会社ブイキューブ

詳細・申込:<https://vcube.smartseminar.jp/public/>

テリロジーだからできるビジュアルコミュニケーション マネジメント

日時:11月18日(水) 15:00-17:00(受付:14:30~)

会場:バルサール九段(東京都千代田区)

主催:株式会社テリロジー

詳細・申込:<http://www.terilogy.com/event/0093.html>

IC³(アイシーキューブ)を「導入してよかった」! ~Web会議の導入担当者が明かした成功ポイントとは~

日時:11月20日(金)15:30-17:00

会場:キャンソンソフト情報システム

東京支社(東京都豊島区)

主催:キャンソンソフト情報システム株式会社

詳細・申込:

<http://www.canon-js.co.jp/seminar/detail.cfm?no=1166>

臨場感あふれるタンバークビデオ会議ソリューションの ご紹介 東京・大阪同時開催

日時:11月20日(金)14:00-16:00

会場:日本タンバーク東京本社、大阪オフィス

主催:日本タンバーク株式会社

詳細・申込:

http://www.tandbergjapan.com/news_and_events/seminar_demo.html

「VTV ジャパン × KVH 共催セミナー」

KVH サービスプラットフォームを利用したソリューション構築事例 ~ 「映像コミュニケーションと暗黙知」 ~

日時:11月27日(金)13:30~17:00(受付開始13:00)

会場:KVH株式会社 赤坂オフィス1F(東京都港区)

主催:VTVジャパン株式会社、KVH株式会社

詳細・申込:<http://www.vtv.co.jp/seminar/0911kvh/index.html>

*日本大学大学院商学研究科教授 工学博士 児玉充 教授の講演、最新テレビ会議事情、中国通信回線事情、上海とのHDテレビ会議デモなど。

国土交通省主催<東京>

「会社を元気にするテレワークセミナー2009」

~ワークライフバランス・事業再構築からパンデミック対策まで~

日時:2009年12月8日(火)13:30~16:30

会場:ホテル ルポール麹町(東京都千代田区)

主催:国土交通省 都市・地域整備局

都市政策課広域都市圏整備室

事務局:株式会社情報通信総合研究所

詳細・申込:<http://www.icr.co.jp/telework/>

編集後記

今回もお読みいただきましてありがとうございました。スイスのLogitech社が米ライフサイズ社を4億500万ドルで買収するとの発表が入りました。次回掲載予定です。また次回も何卒宜しくお願ひ致します。(橋本 啓介)